

資料 4

4. 踏切道対策の状況について

■ 法指定踏切道 一覧

山口県

No	踏切道		鉄道		道路			該当する指定基準 (踏切道改良促進法施行規則)	法指定 時期
	位置	名称	線名	事業者	種別	路線名	管理者		
1	山口県山口市	柳井田堤	山口線	西日本旅客鉄道(株)	県道	新山口停車場上郷線	山口県	通学路要対策	H29.1.27
2	山口県山口市	上郷西	山口線	西日本旅客鉄道(株)	市道	新町岡田線	山口市	通学路要対策	H29.1.27
3	山口県下関市	高磯折第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	宇部線	下関市	通学路要対策	H29.1.27
4	山口県光市	大方	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	徳山光線	山口県	地域課題	H30.1.19
5	山口県山陽小野田市	セメント町	小野田線	西日本旅客鉄道(株)	県道	妻崎開作小野田線	山口県	地域課題	H30.1.19
6	山口県田布施町	豆尾第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	上定井手線	田布施町	地域課題	R3.4.13
7	山口県岩国市	松原第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	由東13号線	岩国市	地域課題	R6.1.18
8	山口県宇部市	玉川	宇部線	西日本旅客鉄道(株)	市道	居能駅厚東川線	宇部市	-	-
9	山口県宇部市	八王子	宇部線	西日本旅客鉄道(株)	市道	恩田八王子線	宇部市	-	-
10	山口県周南市	沖見町	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	緑町沖原線	周南市	-	-
11	山口県周南市	自得寺	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	北山合田町線	周南市	-	-

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和6年1月末

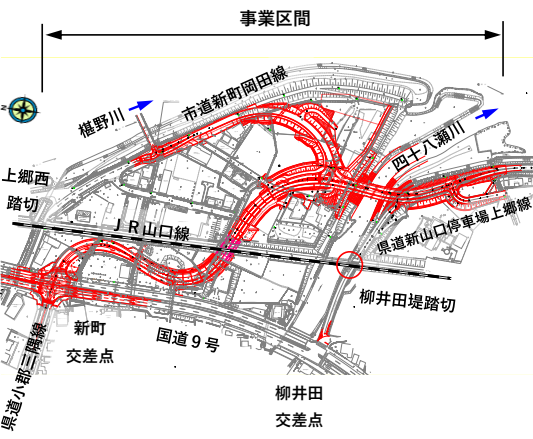
よみがな	やないだつみ	所在地	山口県山口市小郡下郷字東上村143-8		
踏切道名	柳井田堤	道路名	一般県道新山口停車場上郷線	道路管理者名	山口県
		鉄道路線名	山口線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
 <p>国土地理院電子国土web</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	6		左道路	0.4	6.3	0.3		
	横断本数(本)	1		踏切道	0.4	7.0	0.3		
	交差角(度)	45		右道路	0.3	6.5	0.2		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等		距離(m)	
		右道路	曲線		自動車	両方共なし		-	
	交通規制		大型貨物自動車等通行止め(22:00-翌5:00)		歩行者	迂回路なし(200m以内)		-	
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし(200m以内)		-	
	歩車道分離方法		なし		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○			
高規格保安設備		-		高齢者等の事故防止対策設備	-				
特性		通学路指定状況(学校指定)	○	通学路交通安全プログラム	○				
		バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-				
自動車交通量(台/日)		6,314		歩行者等交通量(人/日)	14	鉄道交通量(本/日)	66		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	10	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	11,997	AとBの和	12,023		踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	27				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ホトルネック踏切	歩行者ホトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	○	-	-		

法指定の状況					R6年1月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
H29.1.27(旧法)	第2条第8号(通学路要対策踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点	
		進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
		事業中	○	R2	H17	R1	
		対策内容					
		<ul style="list-style-type: none"> 単独立体交差化(H17~) 遮断不良検出器(H27) 					
事業完了年度		対策の効果等					
-							
除却年度		-					
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和6年1月末

よみがな	かみごうにし	所在地	山口県山口市小郡上郷字車後地3386-7		
踏切道名	上郷西	道路名	市道新町岡田線	道路管理者名	山口市
		鉄道路線名	山口線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
 <p>(対策前)</p> <p>(現況) 注意喚起看板設置 (H19) 歩行者誘導カラーライン (H24)</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	6		左道路	0.0	3.0	0.0		
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	2.9	0.0		
	交差角(度)	75		右道路	0.0	3.0	0.0		
	道路線形	左道路 直線 右道路 曲線	迂回路	種類	有無等		距離(m)		
	交通規制	大型車の通行禁止		自動車	終点寄り	350			
	車両進入防護柵等	設置していない		歩行者	迂回路なし (200m以内)		-		
	歩車道分離方法	なし		バリアフリ化	迂回路なし (200m以内)		-		
	踏切保安設備	賢い踏切	-	バリアフリ化状況	-	DID地区	-		
		高規格保安設備	障害物検知装置(3次元レーザレーダ式)	高齢者等の事故防止対策設備	-				
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○	通学路交通安全プログラム		○				
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-				
自動車交通量 (台/日)	3,308	歩行者等交通量 (人/日)	126	鉄道交通量 (本/日)	66				

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	5,624	AとBの和	5,838		踏切事故	1	1	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	214				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	○	-	-		

法指定の状況					R6年1月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
H29.1.27 (旧法)	第2条第8号 (通学路要対策踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点	
進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度			
事業中	○	R2	R1	-			
対策内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路整備 (R1～) ・障害物検知装置 (H29) ・全方位型警報灯 (H29) ・遮断不良検出器 (H27) ・歩行者誘導カラーライン (H24) 							
事業完了年度		対策の効果等					
-							
除却年度		-					
-							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和6年1月末

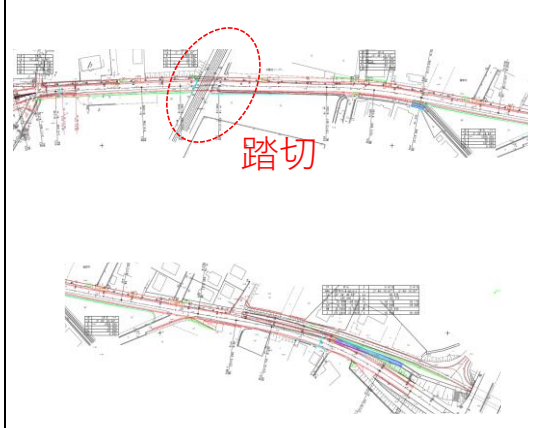
よみがな	たかいそおりだいい	所在地	山口県下関市王司上町五丁目1250-2		
踏切道名	高磯折第1	道路名	市道宇部線	道路管理者名	下関市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	11		左道路	2.0	5.0	2.0	
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
	交差角(度)	70		右道路	2.0	5.0	2.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制	交通規制なし			歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等	設置していない			バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法	なし		バリアリ化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○		
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)		高齢者等の事故防止対策設備	-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○		通学路交通安全プログラム	○			
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-		緊急輸送道路上 重要物流道路上	-			
自動車交通量 (台/日)	3,368		歩行者等交通量 (人/日)	313	鉄道交通量 (本/日)	145		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	11	前後歩道との幅員差(m)	-2.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	8,084	AとBの和	8,835		踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	751				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	-	○	-	-	

法指定の状況					R6年1月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
H29.1.27 (旧法)	第2条第8号 (通学路要対策踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	事業中	○	R3	H30	R3	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 遮断不良検出器 (R4) 踏切拡幅 (H30~) 全方位型警報灯 (H23) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
-						
除却年度	-					
-						

鉄道事業者名	西日本旅客鉄道(株)
鉄道路線名	山陽本線(島田～光)
道路名	県道徳山光線
都市計画道路名	川園線
道路管理者名	山口県

【参考】

自動車交通量	7,394台/日
歩行者交通量	90人/日



「この地図は、国土地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。」

■踏切道の改良の方法: 立体交差化

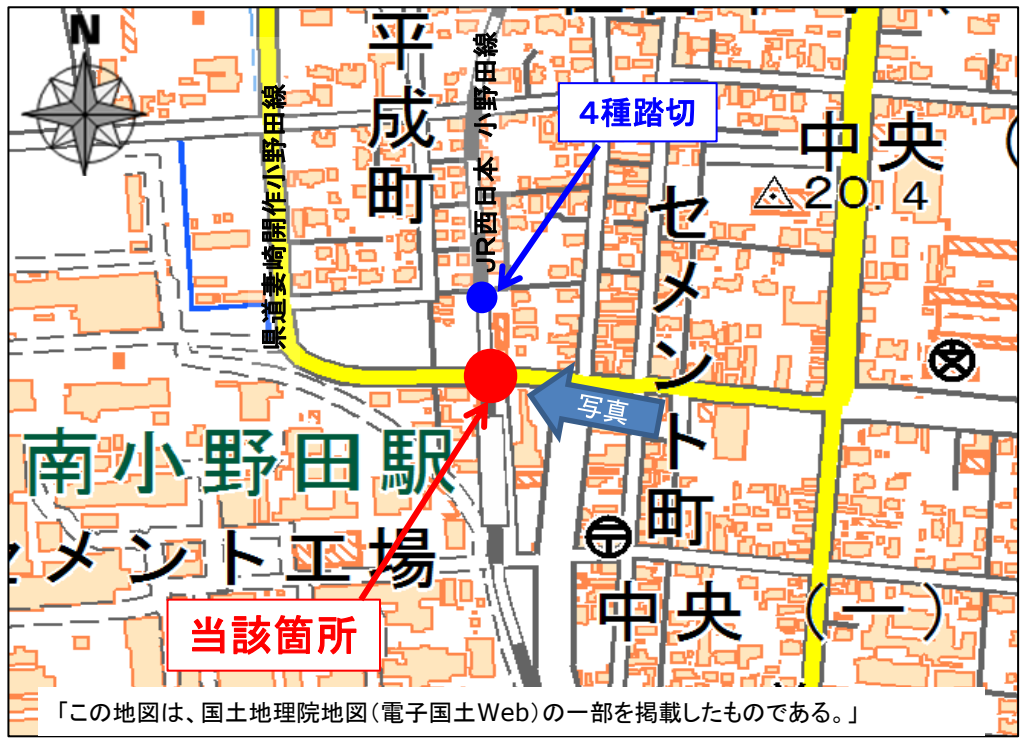
(踏切道の課題)

- ・当該踏切は、踏切自動車交通遮断量が16,267台・時/日あり、朝・夕を中心に激しい渋滞を引き起こしており、渋滞解消のために踏切除去が必要である。
- ・当該道路は通学路として指定されているが、現道が片側歩道で幅員も狭小のため、安全な通行に支障をきたしている。
また、通学路交通安全プログラムの危険箇所へ指定されており、児童の安全性を確保するため、早期の整備が求められている。

セメント町踏切 (山口県山陽小野田市) 【更新: 令和5年12月時点】 【中国地整管内】

鉄道事業者名 西日本旅客鉄道(株)
鉄道路線名 小野田線(南小野田～南中川)
道路名 県道妻崎開作小野田線
都市計画道路名 新開作二軒屋線
道路管理者名 山口県

【参考】
自動車交通量 10,118台/日
歩行者交通量 179人/日



■踏切道の改良の方法: 構造改良(歩道設置、車道拡幅)

(踏切道の課題)

- ・当該道路は、自動車交通量が多く(10,118台/日)、歩道がないため、安全な通行に支障をきたしている。
 - ・当該踏切の北側にある4種踏切については、現況は小学生の通学路となっている。踏切道の改良により歩道の設置を行うことで、安全な通学路が確保されることから、4種踏切については廃止するものとしている。
- また、当該道路は通学路交通安全プログラムの危険箇所へ指定されており、児童の安全性を確保するため、早期の整備が求められている。

地域課題踏切カルテ

更新日：令和6年1月末

よみがな	まめおだい1	所在地	山口県熊毛郡田布施町大字下田布施字安平1079-2地先		
踏切道名	豆尾第1	道路名	町道上定井手線	道路管理者名	田布施町
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	14.1		左道路	0.0	4.0	0.0	
	横断本数(本)	3		踏切道	0.0	4.0	0.0	
	交差角(度)	80		右道路	0.0	4.0	0.0	
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	-
	踏切 保安 設備	賢い踏切	-		踏切支障報知 装置(手動)	○		-
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故 防止対策設備	-		-		
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○	通学路交通安全 プログラム	-		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上	-		-		
自動車交通量 (台/日)		1,269	歩行者等交通量 (人/日)	1,976	鉄道交通量 (本/日)	121		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との 幅員差(m)	0.0	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	JR山陽本線を利用して通学する高校生の大多数が 豆尾第1踏切を横断する。踏切が狭いため大変危 険な状況である。
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	3,807	AとBの和	9,735		踏切 事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	5,928				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狹隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	-	-	-	-	

法指定の状況					R6年1月末時点
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)				
R3.4.13(現法)	第2条第12号 (地域課題踏切)	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点
進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度		
事業中	○	R3	R4	R4		
対策内容						
・踏切幅員 (R4~)						
事業完了年度	対策の効果等					
-						
除却年度	-					
-						

地域課題踏切カルテ

更新日：令和6年1月末

よみがな	まつばらだい1	所在地	山口県岩国市由宇町中央一丁目5931		
踏切道名	松原第1	道路名	市道由東13号線	道路管理者名	岩国市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
  	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	12.2		左道路	0.0	6.0	0.0		
	横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	0.0		
	交差角(度)	90		右道路	0.0	6.0	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
	交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等				バリアフリー化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法		なし		バリアフリー化状況	-	DID地区	-	
	踏切保安設備	賢い踏切	-		踏切支障報知装置(手動)	○			
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備						
特性	通学路指定状況(学校指定)	○	通学路交通安全プログラム	○					
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上	-					
自動車交通量(台/日)		2,565	歩行者等交通量(人/日)	234	鉄道交通量(本/日)	126			

基準算定データ							R3年9月末時点	
ピーク時遮断時間(分)	15	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	当該道路は通学路(中学校)に指定され多くの生徒が通学しているが、歩道が整備されておらず車両や通学生徒の安全な通行に支障をきたしている。
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	8,075	AとBの和	9,573		踏切事故	0	0	
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,498				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点	
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切		
-	-	-	-	-	-	-		

法指定の状況					R6年1月末時点	
法指定年月日	指定に係る基準(踏切道改良促進法施行規則)					
R6.1.18(現法)	第2条第12号(地域課題踏切)	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点	
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度		
	事業中	-	R5	R5	R6		
	対策内容						
	・踏切拡幅(R6~)						
	事業完了年度	対策の効果等					
除却年度							

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和6年1月末

よみがな	たまがわ	所在地	山口県宇部市大字藤曲字港町1753-73		
踏切道名	玉川	道路名	市道居能駅厚東川線	道路管理者名	宇部市
		鉄道路線名	宇部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	17.1		左道路	3.0	6.0	0.0	
	横断本数(本)	5		踏切道	1.5	5.0	0.0	
	交差角(度)	70		右道路	1.6	9.6	0.0	
	道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
	交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-	
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-	
	歩車道分離方法		白線		バリアリ化状況	-	DID地区	○
	踏切保安設備	賢い踏切		-	踏切支障報知装置(手動)		○	
高規格保安設備		光式	高齢者等の事故防止対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○	通学路交通安全プログラム		-		
	バリアフリー法に基づく特定道路上		-	緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		2,624	歩行者等交通量 (人/日)		279	鉄道交通量 (本/日)		
						68		

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	12	前後歩道との幅員差(m)	-1.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,199	AとBの和	4,645		踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	446				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準						R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	○	-	-	-

法指定の状況					R6年1月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)				
-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	指定前	○	-	-	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示実施 (H22) 障害物検知装置 (H22) 遮断不良検出器 (H26) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和6年1月末

よみがな	はちおうじ	所在地	山口県宇部市末広町1314-3		
踏切道名	八王子	道路名	市道恩田八王子線	道路管理者名	宇部市
		鉄道路線名	宇部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点		
 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)		
	踏切長(m)	6.5		左道路	1.8	5.5	0.0		
	横断本数(本)	1		踏切道	0.0	7.6	0.0		
	交差角(度)	80		右道路	2.7	5.5	0.0		
	道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
	交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし (200m以内)	-		
	車両進入防護柵等		設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法		なし		バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切 保安 設備	賢い踏切			-		踏切支障報知 装置(手動)		○
高規格保安設備		障害物検知装置(3次元レーザレーダ式)		高齢者等の事故 防止対策設備		-			
特性	通学路指定状況 (学校指定)		○		通学路交通安全 プログラム		-		
	バリアフリー法に 基づく特定道路上		-		緊急輸送道路上 重要物流道路上		-		
自動車交通量 (台/日)		4,736		歩行者等交通量 (人/日)		552	鉄道交通量 (本/日)	38	

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	6	前後歩道との 幅員差(m)	-2.7	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,736	AとBの和	5,288		踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	552				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	○	-	-	-	

法指定の状況						R6年1月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	指定前	○	-	-	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害物検知装置 (H23) ・ 全方位型警報灯 (H23) ・ 遮断不良検出器 (H28) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和6年1月末

よみがな	おさみちよう	所在地	山口県周南市権現町2930-2		
踏切道名	沖見町	道路名	市道緑町沖原線	道路管理者名	周南市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
<p>詳細</p> <p>広域</p> <p>国土地理院電子国土web</p> <p>(対策後)区画線設置による歩行者導線の確保</p>	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	13.8		左道路	3.7	7.0	5.0	
	横断本数(本)	3		踏切道	1.0	6.0	1.0	
	交差角(度)	90		右道路	4.1	7.0	4.1	
	道路線形	左道路 直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
		右道路 直線		自動車	両方共有り	250		
	交通規制	交通規制なし		歩行者	跨線橋	185		
	車両進入防護柵等	設置していない		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)	-		
	歩車道分離方法	白線		バリアリ化状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○			
高規格保安設備		障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	-				
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○	通学路交通安全プログラム	-				
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-				
自動車交通量 (台/日)	1,436	歩行者等交通量 (人/日)	694	鉄道交通量 (本/日)	126			

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	15	前後歩道との幅員差(m)	-4.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A. 踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,595	AとBの和	6,816		踏切事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	2,221				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭陰踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切	
-	-	-	○	-	-	-	

法指定の状況						R6年1月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点
	進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	指定前	○	-	-	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示 (H28) 遮断不良検出器 (H28) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和6年1月末

よみがな	じとくじ	所在地	山口県周南市権現町2856-第1		
踏切道名	自得寺	道路名	市道北山合田町線	道路管理者名	周南市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真		諸元・構造等					R3年9月末時点	
 <p>国土地理院電子国土web</p> <p>(対策後) 区画線設置による歩行者導線の確保</p> 	踏切種別	第1種	幅員 (m)	位置	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	
	踏切長(m)	15.4		左道路	6.5	12.0	6.5	
	横断本数(本)	3		踏切道	1.3	9.5	1.3	
	交差角(度)	90		右道路	6.5	12.0	6.5	
	道路線形	左道路 直線 右道路 直線	迂回路	種類	有無等		距離(m)	
	交通規制	交通規制なし		自動車	両方共有り		400	
	車両進入防護柵等	設置していない		歩行者	迂回路なし (200m以内)		-	
	歩車道分離方法	白線		バリアリ化	迂回路なし (200m以内)		-	
				バリアリ化 状況	-	DID地区	○	
	踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知 装置(手動)	○			
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故 防止対策設備	-				
特性	通学路指定状況 (学校指定)	○	通学路交通安全 プログラム	-				
	バリアフリー法に 基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上 重要物流道路上	-				
自動車交通量 (台/日)	3,678	歩行者等交通量 (人/日)	455	鉄道交通量 (本/日)	126			

基準算定データ							R3年9月末時点		
ピーク時遮断時間(分)	20	前後歩道との 幅員差(m)	-5.2	踏切内の 事故発生 状況	事故別	件数	死者数	地域 課題	-
A. 踏切自動車交通遮断 量(台・時)	15,080	AとBの和	16,946		踏切 事故	0	0		
B. 踏切歩行者等交通遮 断量(人・時)	1,866				道路交 通事故	0	0		

カルテ踏切の基準							R3年9月末時点
開かずの踏切	自動車ボトルネック踏切	歩行者ボトルネック踏切	歩道狭路踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化 要対策踏切	
-	-	-	○	-	-	-	

法指定の状況						R6年1月末時点
法指定年月日	指定に係る基準 (踏切道改良促進法施行規則)					
-	-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真		対策実施の状況				R6年1月末時点
	進捗	協議会の 設置状況	改良計画書の 作成年度	事業化年度	工事着手年度	
	指定前	○	-	-	-	
	対策内容					
	<ul style="list-style-type: none"> 路面標示 (H28) 全方位型警報灯 (H23) 遮断不良検出器 (H29) 					
	事業完了年度	対策の効果等				
	-					
除却年度	-					
-						